

議事録

審議会等名	つくばみらい市都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定 第3回まちづくり検討委員会
開催日	平成31年2月21日 10時00分～
開催場所	つくばみらい市役所伊奈庁舎 3階 大会議室
出席者	岡本委員長、鐘ヶ江副委員長、武藤委員、野口委員、牟田委員、森田委員、白鳥委員、中島委員 アドバイザー：青山先生 事務局：奈幡都市建設部長、梅本都市計画課長、中村補佐、荒川係長 コンサル：玉野総合コンサルタント
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席確認→会議成立 ・資料確認（5種類） <p>3. 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回から今回までの経緯報告 <p>4. 説明</p> <p>○市民アンケート結果報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p.17の地域をより生活しやすくするために今後必要なこととして「医療・福祉施設などの充実」があげられているが、病院等がみらい平に移ったとか、廃業したといったことはないか。（岡本委員長） →廃業等はなく、人口増加に伴い、クリニックや診療所が増えている状況にある。（事務局） ・p.17の市の魅力を高めるために必要なこととして、「みらい平駅周辺が、周辺地域の中心拠点として賑わい、人が集まるようなまちになること」があげられている。つくばエクスプレスの秋葉原から銀座、東京駅方面までの延伸が議論される中、ポテンシャルが高まるみらい平のまちづくりの充実について、検討していく必要があると考える。（青山氏） ・みらい平周辺において、新規に医院を開業する方が増えているが、二次医療圏として病床数は満たされており、総合病院はつくばみらい市にはない。このため、つくばみらい市周辺の中核病院等へのアクセスを考慮していくことが重要と考える。（本多委員） →つくばみらい市と同じ二次医療圏はどこになるか。（青山氏） →つくば市、つくばみらい市、常総市となる。（本多委員） →つくば市、常総市に二次医療圏の総合病院があり、結果、病床数がこの地域で足りているとなる。（青山氏） →夜間の救急搬送の対応時間について、守谷市であれば1件1時

間程度、つくばみらい市は1.5時間から2時間程度かかってしまう。(久下委員)

→医療機関への道路によるアクセスについて、今後、分析・検討が必要と思う。(岡本委員長)

- ・アンケート結果は、地域や年齢ごとに評価が違う可能性があり、それらを踏まえ、分析を行っていく必要があると考える。(岡本委員長)

○現行都市計画マスタープランの検証について

- ・みらい平周辺において病院は増えてきているが、そこから大きな病院の紹介を受けて診察に向かうとなっても移動・交通手段がない。高齢者が増える中で、医療施設への移動・交通手段の充実を検討してほしい。加えて、医療施設へのアクセスだけでなく、交通サービスが充実していない地域への手当も同時に考え行かなければならない。(白鳥委員)

→守谷駅へのコミュニティバスやデマンドタクシーの乗り入れ等については、乗り入れする市の地域交通協議会に承認を得なければならない。コミュニティバスについては承認を得ているが、デマンドタクシーはタクシー会社の営業運行との競合関係にあり、承認を得るまで至っていない。(事務局)

→デマンドタクシーは子育て世代に対応した利用方法やニーズやもある。民間に委託する以外の方法での運営方法がないか事例研究を行ってほしい。(牟田委員)

→例えば、筑波学園病院とみらい平を結ぶ基幹バス路線を設けて、その基幹バス路線と結節する場所までコミュニティバス等で乗客を集めるやり方があるのではないか。外出するという行動をサポートしてほしい。(菩提寺委員)

- ・現在、学校再編委員として活動しており、各課題についてこの委員会ではどのように扱っていけばよろしいか。例えば、課題に対して解決策を出したとして、他の会議で話し合われている内容と齟齬が出てきた際にどちらが優先されるのかという疑問がある。他の会議で話し合われている内容と違う解決策が出てきた際に、苦慮すると思う。(牟田委員)

→市の上位計画は総合計画があり、それに即して都市計画マスタープランは策定される。まちづくりという観点から、道路や公園だけでなく、教育等についても計画に盛り込んでいく。但し、具体的な中身を都市マスの中で議論するのではなく、課題を捉えながら計画にて表現していく形となる。具体の部分は個別の会議で話し合われるものである。(事務局)

→他の会議等で話し合われている内容と大枠は変わらないとの認識で良いか。(牟田委員)

→その通りである。(事務局)

- p. 19 の沿道商業業務地や、p. 20 の歴史公園周辺における施設の立地促進が必要という点に関して、立地適正化計画との兼ね合いも考慮しながら、本会議においては、課題を課題として残さないようにしないとイケない考える。(岡本委員長)
- 歴史公園ワークステーション周辺の活用の観点から、都市計画の視点からどのような手当が必要かについて検討していくことが必要と考える。(青山氏)
- 二次医療圏の病床数については、現段階では満たされているが、総合病院の誘致等の観点については、将来を見据える必要があるのではないか。都市計画マスタープランの中では、病床数が満たされているからといって総合病院の誘致等について消去するまでは必要ないのではないか。例えば、将来的に現在の周辺市にある総合病院の老朽化に伴って移転等が行われるとなった際に、対応できる形にしておかなければいけないのではないかと考える。(青山氏)

○都市マス全体構想案について

- アンケート結果から望ましい将来の市の姿「安心、安全なまち」や「自然豊かなまち」を都市づくりの基本理念において考慮していく必要があるのではないかと。(岡本委員長)
→再度、検討したい。(事務局)
- p. 49 の将来都市構造について、スマート IC や周辺市の総合病院へのアクセスを議論するため、周辺市の施設や機能を情報として追加してほしい。別図でも構わないと思う。(青山氏)
→スマート IC について、国に要望している状況にあり、関係機関協議等を踏まえて、都市計画マスタープランに記載できる内容があれば、今後、入れていきたい。(事務局)
- 減災で一番効果があるのは、危ないところに住まないことだと思う。(岡本委員長)
- 人口が増加しているみらい平において、渋滞は発生していないか。(岡本委員長)
→現状、渋滞はない。通学路等の交通安全対策等を実施していきたい。(事務局)
- 福岡地区の道路は歩道がないため、歩行者の安全性の視点では、みらい平よりも状況が悪い。みらい平等の新しい地域と、既存地域の双方の地域のそれぞれにおいて対策を考えていく必要がある

る。(中島委員)

→既存地域に比べ、みらい平はコミュニティが希薄であるため、防犯面で不安がある。(牟田委員)

→次年度地域別構想を検討していく中で、アンケートを地区別等で分析することで、各地区の問題点・課題を抽出していきたい。

(事務局)

・福岡地区の工業団地が完成した中、工業団地への交通と生活道路のすみ分けが重要になる。(岡本委員長)

→伊奈東地区において、住宅が密集し道路拡幅等を実施できない中、道路にマーキングをして歩行者の安全性を高める取り組みを行っていただいている。市内の他地域への展開も有効であると考ええる。(白鳥委員)

→地域にあった方策を考えていきたい。(事務局)

・隣接市のマスタープランによる土地利用状況の相違性について、意識した方が良い。(青山氏)

→隣接市との土地利用の観点も考慮していきたい。(事務局)

○立適まちづくり方針案について

・路上喫煙禁止区域の指定は市内にあるか。(本多委員)

→指定はない。(事務局)

→茨城県全体で、喫煙対策が遅れている。健康面でのまちづくりも考えていく必要があり、公共空間(公園やペDESTリアンデッキ等)における喫煙について触れてほしい。(本多委員)

5. その他

・委員長退任説明(岡本委員長)

・次回検討委員会は、6月中旬を予定している。(事務局)